10th ANNIVERSARY

Annual Report 2021

一般社団法人エル・システマジャパン

活動報告書

2021.4-2022.3

2013 年相馬弦楽器体験教室　©FESJ2013MarikoTagashira

2022 年第 7 回エル・システマ子ども音楽祭 in 相馬　©FESJ2022YasutakaEida

FRIENDS OF EL SISTEMA JAPAN

一生懸命準備し、楽しみしていたコンサートができなくなったり、参加が叶わなかったりと、コロナ禍に悩まされていた2021年度も終わり間際の3月。エル・システマジャパンは設立10年という節目を迎えることができ、また、栄誉ある、国際交流基金地球市民賞を受賞することができました。これも国内外の皆様のあたたかく継続的なご支援により可能となったと思っています。心より感謝申し上げます。

子どもたちは音楽を通してたくましく成長し、相馬では、巣立った大学生達が、演奏や裏方の手伝いに参加してくれるようになり、確実に地域にも活力が生まれてきています。復興支援という枠組みだけでなく、誰にも開かれた放課後の居場所、働き方改革による部活動の将来、文化芸術へのアクセス格差、障害の有無に関わらず自己表現をすることの大切さという観点から、これまで国内での活動を、地域の自治体、公的施設と共に、拡充してきました。

そして、次の10年を見据えて、新たなビジョン「誰もが自由で創造性を発揮できる共生社会」を策定し、ハーモニー、コミュニティ、インクルージョン&クリエイティブというコンセプトに基づき、これまでの活動をより深化させながら、新たな取り組みを始めていきました。

「東京ホワイトハンドコーラス」は「東京子どもアンサンブル」と「クリエイティブ・ワークショップ」に再編され、障害のある人の当事者性を優先しつつも高みを目指すインクルーシブな場づくりや、ろう者の視点に寄り添った音楽の世界の可能性を広げるクリエイティブな芸術活動を支えていきます。

また、本来は生まれつきクリエイティブな子どもたちが、楽しく、教え込まない形でありつつも、最前線で活躍する演奏家や作曲家が真剣に向き合う「エル・システマ作曲教室」(監修:藤倉大)を4年ぶりに再開しました。

何より嬉しいのは、関西にエル・システマの活動拠点が2か所誕生しました。地元自治体と地域密着型のプロオーケストラとの初めての協働事業となる、「豊中みんなの音楽教室」。そして、既存の活動を、エル・システマの視点を取り入れることで、地域コミュニティが抱える課題を文化芸術で解決していこうとの理念で始まる「舞鶴子どもコーラス」。

引き続き、私たちの挑戦を見守って応援をいただければ幸いです。

エル・システマジャパン 代表理事
菊川 穣

【略歴】
1971 年神戸生まれ。95 年ロンドン大学ユニバーシティカレッジ卒業。96 年同大学教育研究所政策研究修士課程終了。その後、98年よりユネスコ 南アフリカ事務所にて教育担当官。2000 年よりユニセフ レソト、エリトリア事務所において、青少年、子ども保護、およびエイズ分野を担当。07年より日本ユニセフ協会にて勤務。11 年 3 月より東日本大震災緊急支援本部チーフコーディネーターとして支援活動を指揮。12 年 3 月に一般社団法人エル・システマジャパンを設立、代表理事に就任。

Annual Report 2021

活動報告書 2021.4-2022.3

01 ごあいさつ
02 エル・システマジャパン10年の沿革
04 2021年の活動状況
06 相馬子どもオーケストラ&コーラス
08 大槌子どもオーケストラ
10 駒ケ根子どもオーケストラ
12 東京子どもアンサンブル（旧称：東京ホワイトハンドコーラス）
14 広報活動
16 ご協力のお願い
18 会計のご報告
20 ご協力・ご支援をいただいた皆様

※学年・年齢の表記は当時のものです
※マスクを外している写真は、撮影にあたり一時的に外しています。

南米ベネズエラで始まった社会変革を目指した音楽教育「エル・システマ」

1975年に始まった活動は、シモン・ボリバル音楽財団によって展開され、現在、約100万人の子どもたちがベネズエラ国内の約300のオーケストラ&コーラスに参加しています。その理念に共感した活動は、世界70か国以上の国、地域に広がり、それぞれ、地域の特性や社会環境に応じて独自に発展し、展開されています。

エル・システマジャパン
10年の沿革

2012.3
エル・システマジャパン設立

2012.5
相馬市と事業協力協定を締結。市内の小学校への部活動支援、音楽授業支援、楽器支援を開始

2012.7
ベネズエラのエル・システマを統括するシモン・ボリバル音楽財団と了解覚書を締結

2013.11
作曲家・藤倉大氏による作曲教室を相馬市で開始

2014.5
大槌町と事業協力協定を締結。小・中学校の吹奏楽部への支援、楽器支援を開始

2015.3
「ドゥダメルと子どもたち」を日米エル・システマ共同企画でサントリーホールにて開催

2015.11
ベネズエラのテレサ・カレーニョ・ユース・オーケストラ・オブ・ベネズエラが来日、相馬と大槌の子どもオーケストラメンバーと共演

2016.5
アンゴラのカポソカ音楽学院オーケストラが相馬子どもオーケストラと相馬市と東京で共演・交流

2016.3
相馬子どもオーケストラの代表メンバーによるドイツ公演ツアーを実施

2016.7
ベネズエラのフランシスコ・ミランダ・ユース・オーケストラと相馬子どもオーケストラが相馬市にて共演・交流

2016.11
台湾の蛹の声音楽計画（El Sistema Puli）と相馬子どもオーケストラが相馬市で共演・交流

2017.3
駒ヶ根市と事業協力協定書を締結

2017.6
東京ホワイトハンドコーラスの教室がスタート

2017.7
駒ヶ根弦楽器教室がスタート

2017.10
「エル・システマ・フェスティバル2017」を東京芸術劇場にて開催、東京ホワイトハンドコーラス、相馬子どもコーラス、フェローオーケストラ、ベネズエラのララ・ソモスが共演

2018.12
「エル・システマ・フェスティバル2018」を東京芸術劇場にて開催、大槌、相馬、駒ヶ根の子どもオーケストラ、東京ホワイトハンドコーラス、ベネズエラのララ・ソモスと共演。

2019.3
「第5回エル・システマ子ども音楽祭in相馬」にて、英国オックスフォード大学管弦楽団と共演

2021.3
「世界子ども音楽祭2021」で6か国のエル・システマの子どもたちが動画で参加、世界同時配信

2022.3
設立10周年を迎え、「東京ホワイトハンドコーラス」を「東京子どもアンサンブル」「クリエイティブ・ワークショップ」に再編。関西で新たな2拠点（豊中・舞鶴）発足を発表。

10th ANNIVERSARY

東日本大震災は、東北地方のみならず、多くの人の心に傷を残しました。とりわけ被害のひどかった地域の子どもたちの心のケアをどうするのか。音楽の力を使って癒すと共に、未来に向かって歩み出す勇気を与える。エル・システマジャパンの試みを知って、「そうか、この手があるのか！」と得心。微力ながら応援してきました。今後は、さらに全国に運動が広がっていくことを期待しています。

池上彰
〈ジャーナリスト〉

Greetings to the Sistema Japan family and heartfelt congratulations on the occasion of your 10th anniversary! Through your belief in the power of making music TOGETHER your committed leadership team and your wonderful teachers have already led many hundreds of children into a world of new or renewed self-confidence, aspiration, resilience, discipline and excellence. I know that this is just the beginning and even greater growth, success and joy is sure to come. I continue to watch your passionate work with admiration. Onwards!

エル・システマジャパンファミリーの皆さん、創立10周年心よりおめでとうございます。エル・システマジャパンは、音楽を共に創るという信念のもと、熱心な指導者の方々や素晴らしい先生方によって、すでに何百人もの子どもたちを、自信、向上心、回復力、規律、卓越性を取り戻した世界へ導いてこられました。これはほんの始まりに過ぎず、さらなる成長や成功、喜びがきっとやってくると信じています。皆さんの情熱的な仕事を、私は賞賛をもって見守ります。さらに前へ！

Fergus McWilliam
〈ホルン奏者、元ベルリンフィル、元Sistema Scotland理事〉

Ten years ago, El Sistema Japan demonstrated a previously unimagined breadth of effectiveness inherent in the El Sistema global movement. In the aftermath of the devastating tsunami of 2011, Mr. Yutaka Kikugawa recognized that the El Sistema approach could be repurposed for this new circumstance. The visionary program of youth orchestras for social change now brought comfort, stability, and joy to young people and their families in heavily stricken areas. Ten years later, El Sistema Japan is a thriving nationwide program that inspires the whole world. My father, Leonard Bernstein, would have been so moved by this program's success in using music to make the world a better place. Congratulations to Mr. Kikugawa and El Sistema Japan!!

10年前、エル・システマジャパンは、エル・システマのグローバル・ムーブメントが持つ想像をはるかに超えた有効性を示しました。2011年の津波被害の後、菊川穣氏はエル・システマのアプローチが新たな状況下でも適用できることを認識したのです。社会変革のための青少年オーケストラという先見性のあるプログラムは、今、被災地の若者とその家族に安らぎと安定、そして喜びをもたらすことになったのです。10年後、エル・システマジャパンは、世界中を鼓舞する全国的なプログラムとして成長しています。私の父、レナード・バーンスタインも、音楽を通じて世界をより良い場所にするこのプログラムの成功に、きっと心を動かされたに違いありません。菊川さん、そしてエル・システマジャパンの皆さん、おめでとうございます。

Jamie Bernstein
〈著述家〉

相馬子どもコーラスの活動を始めて今年で8年になります。私はまだ外国に行った経験はありませんが、コーラスの活動の中で、世界各国の素晴らしい曲を原語で何度も歌ううちにいつの間にか外国の人々や文化を身近に感じるようになりました。また、たくさんの演奏会に参加させていただく中で、様々な年齢の方々との交流・様々な国々の方の出会い・そして東京子どもアンサンブルの皆さんとの楽しいふれあいや共に歌うことを経験しました。今、「歌」というものは、全ての垣根を越えて人と人との心を繋ぎ、お互いを理解し合いたい・仲良くしたい、と強く願う感覚を育ててくれるものなのだと確信しています。これからも歌う活動を通してたくさんの方と出会い、視野を広げ、自分を成長させていきたいです。

岩崎真美〈相馬子どもコーラス〉

息子が東京ホワイトハンドコーラスに参加したのは、在籍していた盲学校の校長先生からのお誘いがきっかけでした。「声隊」結成当初は戸惑いも多かったようですが、ご指導いただく先生方やスタッフの皆様が様々な工夫をしてくださり、視覚にハンディのある子ども達が合唱を楽しめるように成長してきました。今までの生活の中では経験できなかったコンサートへの参加や、エル・システマの仲間たちとの共演を通して得たものもたくさんあったと思います。代表理事の菊川様はじめスタッフの皆様、東京芸術劇場の皆様には、これからもインクルーシブな活動を後押ししていただくことを願っています。

伴英樹〈保護者〉

2021年度の活動状況

少子化の影響で部活に参加する子どもたちも減っており、特に地方部ではその影響が顕著です。エル・システマジャパンは、地域に開かれた音楽活動を行うだけでなく、学校への支援も行うことで、より多くの子どもたちが芸術や音楽にふれる機会をつくっています。また、障害のある子どもたちが自分らしく表現することを大切にした音楽活動も行っています。

エル・システマジャパンは、3つの支援策を柱に、
各地やグループの状況に応じた支援を行っています。

1 直接的な支援（子どもオーケストラ、子どもコーラス、作曲教室）

2 学校を通じた支援（部活動支援、音楽事業支援、専門家の派遣）

3 総合的な支援（楽器の購入・修繕）

学校での支援などを含めて、
エル・システマジャパンが
支援した子どもたち
約2,200人

相馬子ども オーケストラ＆コーラス

協力協定：福島県相馬市

週末音楽教室 参加者数（2022年3月現在）

	オーケストラ	コーラス
小学生	25名	2名
中学生	27名	7名
高校生	14名	1名
合計	66名	10名

日々の活動

管楽器教室、
弦楽器教室（初級）、
弦楽器教室（中上級）、
弦楽器自主練習会、
コーラス教室を　各週1回

学校への部活動支援として、
バイオリンの出張指導を　週2回

学校への支援

相馬市内小学校：9校

練習場所

相馬市民会館など：5か所

支援人数（学校への支援を含む）

約2,000名

大槌子どもオーケストラ

協力協定：岩手県大槌町

週末音楽教室 参加者数（2022年3月現在）

	オーケストラ
小学生	25名
中学生	2名
大人	5名
合計	32名

日々の活動

弦楽器教室を　週4回

学校への支援＋部活動支援

町内の小・中一貫校：2校

練習場所

町内の子ども向け施設など4か所

支援人数（学校への支援を含む）

約60名

駒ヶ根子どもオーケストラ

協力協定：長野県駒ヶ根市

週末音楽教室 参加者数（2022年3月現在）

	オーケストラ
小学生	42名
中学生	14名
合計	56名

日々の活動

グループレッスンと
弦楽器教室（金・土）を
月3回

練習場所

駒ヶ根市赤穂公民館
駒ヶ根文化会館

支援人数（イベントでの楽器体験参加者などを含む）

約100名

（旧称：東京ホワイトハンドコーラス）

東京子どもアンサンブル

共催:東京芸術劇場
協力:社会福祉法人トット基金

週末音楽教室 参加者数（2022年3月現在）

	ワークショップ	アンサンブル
小学生	—	14名
中学生	1名	4名
高校生以上	4名	1名
合計	5名	19名

日々の活動

東京子どもアンサンブルは
週1回の練習

2021年2月に全2回のクリエイティブ・ワークショップを開催

練習場所

東京芸術劇場

支援人数

24名

音楽監督（吹奏楽）：岡崎明義、　音楽監督（オーケストラ）：木許裕介、　音楽監督（コーラス）：古橋富士雄

©FESJ2022YasutakaEida

相馬子どもオーケストラ＆コーラス

SOMA CHILDREN'S ORCHESTRA & CHORUS
相馬 子どもオーケストラ＆コーラス

だんだんと普段通りの練習や演奏の機会が戻って来た2021年。学校での音楽の授業も同様で、相馬市内小学校でのリコーダー指導や雅楽鑑賞教室なども順調に再開し、今年度はようやく市内の全9校の小学校に音楽による支援を届けることができました。

オーケストラは、相馬市民会館での式典演奏や相馬商工会議所主催の音楽イベント『SOMA音フェス』出演、団内発表会や海外アーティストによるご指導の機会など、制限がある中でもわくわくするような発表・交流の場をいただきました 。

コーラスでは待望の小学生の新入団員を迎えました。小学生からOGまで幅広い年代のメンバーが力を発揮しながら、前回は出演が叶わなかった音楽祭での演奏に向け歌声に磨きをかけてきました。

そんな1年間の集大成となる『第7回エル・システマ子ども音楽祭 in 相馬』は、2022年3月に起きた福島県沖地震により、本番3日目前に延期を余儀なくされました。地震から3週間後には練習を再開させ、多くの方のご尽力により5月開催の運びとなりました。

団体設立10周年記念コンサートを兼ねたこの音楽祭は、中村第一・中村第二・向陽中学校の各吹奏楽部や中村第一小学校器楽部、相馬合唱団エスポワールの出演など、これまで地域で培ってきた音楽の絆を感じられる温かい演奏会となりました。

それぞれのステージでは、子どもたちの可能性を広げる意欲的なプログラムが並びました。コーラスは、金子みすゞの世界や、関西弁による劇的な歌詞と音楽が心に響く「チコタン」などを朗読やソロ、振付けなど多彩な演出で生き生きと歌い上げました。また「あめつちのうた」は弦楽メンバーによる伴奏が実現し、歌声と弦の音色が溶け合う特別な1曲となりました。オーケストラは、中学生メンバーの指揮での演奏に始まり、世界的バイオリニストの久保陽子先生を迎えてのメンデルスゾーンの「バイオリン協奏曲」など挑戦が盛りだくさん。最後に全員で奏でた「サウンド・オブ・ミュージックセレクション」の終曲《全ての山に登れ》では、『全ての困難に立ち向かっていこう』というメッセージが、一つの音楽に結実されていきました。

また3年ぶりに「相馬盆唄」のオーケストラとコーラスの合同演奏を復活させるなど、子どもたちの新たな挑戦と成長、コロナ禍における活動のこれからを予感させる音楽祭になりました。

©FESJ2022YasutakaEida

©FESJ2022YasutakaEida

©FESJ2022YasutakaEida

©FESJ2021

©FESJ2021

©FESJ2022

©FESJ/2021

©FESJ/2021

©FESJ/2021

大槌子どもオーケストラ

OTSUCHI CHILDREN'S ORCHESTRA
大槌 子どもオーケストラ

大槌子どもオーケストラは昨年度に引き続き、コロナ禍により対面でのレッスンが難しい状況であったため、主にオンラインで練習に取り組みました。子どもたちはこの1年で新しいレッスン環境に少しずつ慣れていき、画面を通してのコミュニケーションも積極的に取れるようになり、講師の先生方から学んだことを活かし、「もっと上手くなりたい！」「次の曲に早く進みたい！」など真剣に練習に励む姿を見ることができました。

今年度は、音程やボウイング、皆と合わせて弾くことを目標に練習に取り組み、子どもたち同士で教え合い、助け合ってレッスンを受けている様子も見ることができ、成長を感じることができました。

発表の機会として、「おしゃっち3周年記念イベント」「おしゃっちMUSIC LIVE」に出演させていただき、そして毎年12月に行われている「大槌子どもオーケストラクリスマスコンサート」も保護者の皆様や関係機関の皆様のご理解とご協力をいただき無事開催することができました。子どもたちはレッスンで指導された所を何度も練習し、皆で合わせるという意識を持って演奏できたことを一人ひとりが感じていて、練習の成果が十分に発揮されたコンサートとなりました。

また「響け！復興へのハーモニーin沖縄～つながる未来～」には3名が出演し、普段は経験出来ない大人数でのオーケストラの一員としてステージに立つ楽しさや難しさを体感することができ、とても充実したものとなりました。

コロナ禍で人と会うことが容易ではなくなった今、実際に対面での指導や一緒に演奏する体験が子どもたちの意欲を高めてくれたように感じます。

様々な活動を通して「音楽を一緒に演奏できる楽しさや嬉しさ」を感じながら子どもたちの団結力が発揮され、大きく成長できた1年となりました。

©FESJ/2021

©FESJ/2021

©FESJ/2021

駒ヶ根子どもオーケストラ

KOMAGANE CHILDREN'S ORCHESTRA
駒ヶ根子どもオーケストラ

昨年度に引き続き、今年度も、駒ヶ根子どもオーケストラにとって、我慢の一年となりました。

対面レッスンがやっと再開したと喜んでいるとすぐに新型コロナウイルス感染警戒レベルが上がってしまい、再び、レッスンが中止。その繰り返しが何度も続きました。

また、1月に、満を持して、初めて単独で企画した、「第一回　駒ヶ根子どもオーケストラ演奏会in駒ヶ根」も、感染状況により3月26日に延期され、さらに、その延期された演奏会は本番の一週間前に、感染警戒レベル引き上げにより、中止となり、結局、実現できませんでした。

しかし、駒ヶ根子どもオーケストラのほとんどの子どもたちは、このような経験も全てプラスに変えて、指導者と共に、前向きに一年を過ごす努力をし続けました。

オンラインでの指導や海外在住の方との交流は、昨年に続き、積極的に行いました。

米国ロサンゼルスのエル・システマ団体YOLA(Youth Orchestra Los Angeles)で指導されているスミス恵美さんとロサンゼルスからオンラインでリズムについての講座をしていただき、楽しい時間を過ごしました。

さらに、夢を追いかけて単身チェコに渡り現地のオケに入団したチェリストや、韓国でバイオリニストになりたいとがんばっている小学生とオンラインで交流したり、zoomを使い、ソルフェージュを勉強したり、一人ずつ、丁寧に個人面談とレッスンを続けて、再開に向けての準備を着実に、進めました。

課題の曲を仕上げて、LINEで生徒に動画で送ってもらい、指導者が動画で指導ポイントを伝えるという動画レッスンでは、たまに垣間見る家での楽しい雰囲気がわかる生徒からの動画に思わず顔をほころばせながら、丁寧に指導動画を返信し続けました。この結果、個々の演奏力はずいぶん高まりました。

来年度は、たくさんの演奏会が目白押し。自粛期間も自主練習期間と、ポジティブに考え、焦らず、丁寧に、少しずつ、みんなで同じ方向を見ながら進んでいきたいと願っています。

（旧称：東京ホワイトハンドコーラス）
※東京ホワイトハンドコーラスは2022年4月より名称変更しました。

東京子どもアンサンブル

TOKYO CHILDREN'S ENSEMBLE
東京子どもアンサンブル

みえない・みえにくい子どもたちを中心に、インクルーシブな社会づくりに共鳴した子どもたちが参加する東京子どもアンサンブルは、これまで以上に多くの経験と出会いのもと、コーラスとしてさらに一歩前進することができた一年でした。

9月に紀尾井ホールで行われた「いま、夜が明ける！― 音楽の光」では、ウィーンで活躍するソプラノ歌手の田中彩子さん、そして東京ニューシティ管弦楽団（現：パシフィックフィルハーモニア東京）の皆さん、指揮の木許裕介先生と共演。オーケストラの伴奏にのせて、子どもたちが長く歌っている《あめつちのうた》などを披露し、一段とレベルアップした歌声を多くの方々に聞いていただくことができました。晴れ舞台で歌う喜びを噛みしめ、「今日は眠れない！」と感動でいっぱいの子どもたちの様子が印象的でした。

10月には視覚障害演奏家のグループ「Dominant」による室内楽の鑑賞教室、12月には、多様な演奏家が集う「コバケンとその仲間たちオーケストラ」による第九公演をサントリーホールで鑑賞させていただき、2月にはフェローオーケストラとの交流会を行うなど、子どもたちは数多くの思い出に残る体験をすることができました。

引き続きコロナ禍にあった一年、様々な制約を共に乗り越えてきた子どもたちは、貴重な経験とともに日々一回一回の練習を通し、コーラスとしての結束もより一層強くなっています。先生方や指導ボランティアの皆さんの細やかなサポートにも支えられ、子どもたちはのびのびと成長を続けています。

クリエイティブ・ワークショップ

これまでも、ろう・難聴の子どもたちとも共に活動をしてきましたが、近年、ろう当事者にとっての“音楽”を探ろうとする取り組みに心を寄せています。2021年度はクリエイティブなワークショップとして、「ろう者の“手指”から生まれるオンガクをつくってみよう」を開催。中学生以上のユース世代を対象とし、参加者自らがろう者のオンガクについて考えを巡らせ、実際にオンガクをつくり表現する、これまでにないワークショップとなりました。

【東京紀尾井ホール】

【ラウンド・プラクティスの様子】

【NHK BS 1 「ザ・ヒューマン」取材の様子】

【BS-TBS「あれから 10 年　これから 10 年」 動画配信中】

2021年度　国際交流基金地球市民賞　授賞式（オンライン）

【国際交流基金 地球市民賞 授賞式の様子】

広報活動

エル・システマジャパンは、現在、公式ホームページ、Facebook、Instagram、Twitterで広報活動を行っています。特にFacebookは、週4〜6回のペースで投稿、各拠点での活動の様子やイベントのご案内、世界のエル・システマ団体のご紹介や支援のご協力のお願いなどを行っています。昨年度に引き続き、コロナ禍で練習やイベントの開催が困難な日々が続きましたが、そんな中でもオンラインで練習をがんばる子どもたちの様子や制限のある中でも行われたイベントの様子をご紹介いたしました。

2021年度もTV、新聞、雑誌、Webなどのメディアに取材、掲載いただき、件数は、TV 2件、新聞7件、雑誌3件、広報誌2件、Web 3件でした。主には、エル・システマジャパンの9年間の歩みや今後の展望、また、コロナ禍でどのように音楽活動を行っているか、といったことに大いに関心を寄せていただきました。

社会課題解決のために活動する音楽団体のためのWebニュースサイト「The Ensemble」が2021年夏に募集した「革新的なプロジェクト」に、相馬子どもオーケストラも動画で応募しました。「ラウンド・プラクティス」という、オーケストラのアンサンブル能力の向上とチームビルディングを同時に目指す、オーケストラ音楽監督の木許先生独自の練習方法でオーケストラのアンサンブル能力の向上とチームビルディングを同時に目指す練習方法で、2022年2月には、記事として掲載されました。

また 2022年3月にはエル・システマジャパンが、国際交流基金・地球市民賞を受賞し、各種Webニュースサイトに受賞団体として名前が掲載され、大きな反響をいただきました。ご覧になった支援者の皆様からも祝福の声がたくさん寄せられました。

NHKBS 1「ザ・ヒューマン」のソプラノ歌手・田中彩子さんについてのドキュメンタリー番組では、2021年9月に、東京子どもアンサンブル（旧称：東京ホワイトハンドコーラス）の子どもたちが紀尾井ホールで田中さんと共演した模様をコンサート本番はもちろん、練習や子どもたちとの交流も含め、番組全体の3分の1ほどの時間を使って取り上げられました。

また、BS −TBS「あれから10年 これから10年」では、相馬子どもオーケストラの初期の頃からのメンバーとして活躍し、バイオリンを学ぶために大学に進学、現在は、エル・システマジャパンのスタッフの一人として相馬・大槌の子どもたちを指導している佐藤花音が特集されました。長きにわたる、佐藤とエル・システマジャパンとの関わりを丁寧にインタビューしていただき、エル・システマジャパンについても理解が深まる内容となりました。

メディア掲載

掲載日		メディア区分	メディア名	記事名
2021	4/1	新聞	長野日報	駒ヶ根子どもオーケストラ　世界子ども音楽祭オンラインで参加
	5/17	雑誌	教育音楽	「誰も取り残さない社会を作るために音楽はある」世界子ども音楽祭2021 in 東京
	6/2	Web	The Ensemble	Treasures within a UNESCO Report
	7/1	雑誌	サラサーテ	設立9年目のエル・システマジャパン
	8/31	Web	WebマガジンONTOMO	田中彩子の対談連載「明日へのレジリエンス」Vol.7 無償で子どもたちが音楽活動を続けられるシステムに——エル・システマジャパン菊川穣
	9/27	広報誌	Fortuna	困難に立ち向かう子どもたちが奏でる希望の調べ
	10/19	Web	日経XウーマンARIA	人生はいつもクラシック「エル・システマを日本でやれるとは思っていなかった」
	10/23	Web	相馬市	プロの指導を受ける 相馬子どもオーケストラ公開レッスン
2022	1/17	雑誌	社会教育	音楽を通して未来を担う次世代を育む：エル・システマジャパンの挑戦
	2/2	新聞	毎日新聞	難民らの「よりどころ」名古屋の支援NPO　DANに「地球市民賞」
	2/2	新聞	福島民報	「エル・システマジャパン」に国際交流基金地球市民賞　福島県相馬市で音楽教育支援
	2/2	新聞	福島民友	「エル・システマジャパン」地球市民賞に選出　相馬で音楽教育
	2/2	Web	The Ensemble	'Controlled Chaos': In Soma, New Techniques Produce Stronger Rehearsals
	2/9	新聞	中日新聞	国際交流基金地球市民賞　西区の南米系学校が受賞
	2/20	新聞	福島民報	子ども音楽祭　来月20, 21日
	2/23	新聞	福島民報	相馬市に50万円寄付　あぶくま信金
	3/13	TV	NHK BS1	ザ・ヒューマン「ソプラノ歌手　田中彩子　境界線上のアリア」
	3/26	TV	BS-TBS	「あれから10年これから10年」File.26　福島県相馬市/佐藤花音さん

ご協力のお願い

さまざまな形の支援があります。
皆様のご協力をお待ちしております。

継続的なご支援を!! ちいさな音楽家サポーター（毎月の寄付）

子どもたちへの長期的なサポートのために、継続したご寄付は大きな支えになります。クレジットカードまたは口座振替で、月々1,000円からのご寄付を承っています（1,000円単位で任意の金額になります）。安定した運営と活動のために、ご協力をお願いします。

新設！活動拠点・事業ごとにご寄付いただけるようになりました。
（相馬子どもオーケストラ&コーラス／大槌子どもオーケストラ／駒ヶ根子どもオーケストラ／東京子どもアンサンブル／エル・システマ作曲教室／クリエイティブ・ワークショップ／豊中みんなの音楽教室／舞鶴子どもコーラス）
こちらも月々1,000円から承っています。

国内最大クラウドファンディング READYFOR 内エル・システマジャパンのプロジェクトページから お申し込みいただけます
https://readyfor.jp/projects/fesjmonthly

今回の寄付（単発の寄付）

継続や定額でないご寄付も、お預かりしています。「番組を見て応援したくなって」「誕生日の記念に」「お返しの代わりに」など、さまざまなタイミングでご寄付をいただいております。クレジットカードやコンビニ、Pay-easyなどオンラインや、銀行口座、郵便口座へのお振込みをお取り扱いしています。

ご支援は以下の口座より承っております

三菱UFJ銀行
玉川支店 普通 0155133 一般社団法人エル・システマジャパン

ゆうちょ銀行
店名 〇一九（ゼロイチキュウ） 口座記号 00180-7
口座番号 359243　シヤ）エル　システマジャパン

・振込手数料はご負担願います。
・領収書を希望される方は、お手数ですが、別途、info@elsistemajapan.orgまでお名前、ご住所をお伝えいただけますようお願い申し上げます。
・ゆうちょ銀行口座の場合は、通信欄にお名前、お電話番号、ご住所を記載ください。

楽器の寄贈

エル・システマジャパンでは、オーケストラに参加する子どもたちに無償で楽器を貸与しています。「以前は使っていたけれど今は弾いていない、吹いていない」という楽器がございましたら、ぜひご寄贈をご検討ください。各地の子どもたちが想いを受け継ぎ、大切に使わせていただきます。

コンサートにいく

各地で開かれる子ども音楽祭やコンサートに、ぜひお越しを！子どもたちの演奏や合唱をどうぞご鑑賞ください。コンサートの情報は、ホームページとFacebookでご案内しています。

ボランティア

弦楽器指導ボランティア（フェロー）、本部サポートボランティア（事務）や広報PRサポートインターンを募集しています。

物品やポイントによる協力

読まなくなった書籍やDVDをご寄贈いただき、買い取ってもらうチャリボンや、Tポイントによるご寄付も受付けています。

ふるさと納税での寄付

相馬市ならびに駒ケ根市へのふるさと納税を通じて、相馬子どもオーケストラ&コーラスまた駒ケ根子どもオーケストラの活動を支援できます。ふるさと納税では、住民税と所得税の控除を受けられるほか、相続財産の場合は相続税が非課税になります。

企業版ふるさと納税での寄付

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）を通じて、相馬子どもオーケストラ&コーラスの活動をご支援いただけます。

企業のメリット
・法人関係税の軽減効果が寄付額の最大約9割
・社会貢献（企業としてのPR効果）
・地域資源を活かした新事業展開など

留意事項
・1回あたり10万円以上のご寄付が対象
・相馬市以外に本社（主たる事務所または事業所）がある場合に限る

詳細や詳しい手順は、ホームページでご紹介しています。

エル・システマジャパン　ふるさと納税

子どもたちの音楽活動を支える様々な支援方法を　ホームページで詳しく紹介しています。

こちらのQRコード・URLより
エル・システマジャパンの
ホームページをご覧ください。
（Topページ→「支援をする」）
www.elsistemajapan.org

会計のご報告

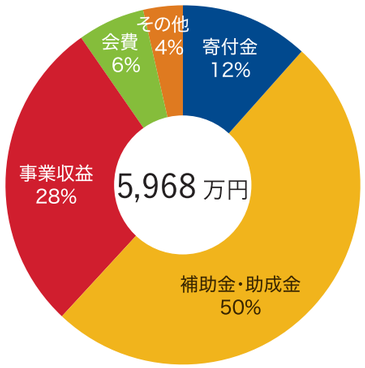
2021年度も、多くのご支援・ご協力をお寄せいただき、エル・システマジャパンは、音楽を通して生きる力を育む事業を行いました。

今年度の活動のための収入は5,968万円でした。支出は、現地事業費が約8割を占めています。コロナ禍による制約が残り、補助金等の減額があったことに加え、設立10年を迎えるに際し、組織の基盤整備に力を入れたことから、人的にも資金的にも投入があったことで、支出が収入を上回っています。現地事業費の減価償却費は、エル・システマジャパン所有の楽器と、自主練習用に開発したソフトウエア分です。

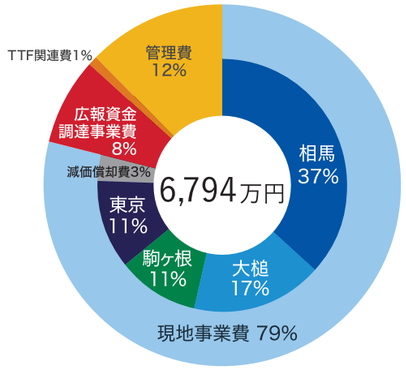
新年度は、新しい事業が始まります。地域に根差し、地域に開かれた活動を行っていくために、コロナ禍で蓄えた知見や、システムを活用しながら、活動の継続とより良い発展を目指し、資金確保に励んでまいります。

今後も活動の輪が広がっていくよう、皆様の温かいご支援と、ご協力をよろしくお願いいたします。

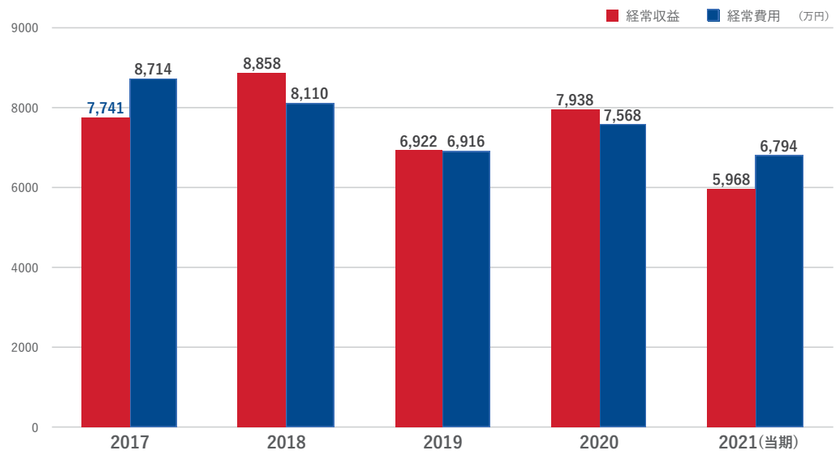
当期収入の内訳



当期支出の内訳



年度別経常収益・経常費用の推移



2021年度 貸借対照表

2022年3月31日現在　(単位:円)

科目	金額
資産の部	
流動資産	
現金・預金	
現　　金	2,068
ゆうちょ　当座	1,318,008
ゆうちょ　普通	1,023,134
三菱東京 UFJ　普通預金	580,867
現金・預金 計	2,924,077
売上債権	
未　収　金	11,222,521
売上債権 計	11,222,521
その他流動資産	
前払　費用	628,050
その他流動資産　計	628,050
流動資産合計	**14,774,648**
固定資産	
有形固定資産	
楽器　類	6,366,200
減価償却累計額	△ 6,354,523
有形固定資産　計	11,677
無形固定資産	
ソフトウエア	2,160,000
無形固定資産　計	2,160,000
投資その他の資産	
敷　　金	968,800
投資その他の資産　計	968,800
固定資産合計	**3,140,477**
資産の部　合計	**17,915,125**
負債・正味財産の部	
流動負債	
未　払　金	17,979,607
前　受　金	12,000
預　り　金	4,513,725
未払消費税	106,100
流動負債　計	22,611,432
負債合計	**22,611,432**
正味財産の部	
正味財産	
前期繰越一般正味財産	2,116,011
前期繰越指定正味財産	4,335,511
前期繰越正味財産額　計	6,451,522
当期一般正味財産増減額	△ 8,262,129
当期指定正味財産増減額	△ 2,885,700
当期正味財産増減額　計	△ 11,147,829
一般正味財産	△ 6,146,118
指定正味財産	1,449,811
正味財産　計	△ 4,696,307
正味財産合計	**△ 4,696,307**
負債・正味財産の部　合計	**17,915,125**

2021年度　正味財産増減計算書

2021年4月1日～2022年3月31日　(税込)(単位:円)

科目	事業会計	法人会計	合計
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	16,000	8,000	24,000
賛助会員受取会費	2,425,334	1,212,666	3,638,000
受取助成金等			
受取公的助成金	0	0	0
受取公的補助金振替額	23,274,736	0	23,274,736
受取民間助成金振替額	5,954,670	825,682	6,780,352
受取寄付金			
受取寄付金(個人)	1,836,734	208,460	2,045,194
受取寄付金(企業・団体等)	3,474,902	386,100	3,861,002
受取指定寄付金振替額	832,716	241,036	1,073,752
事業収益			
受託事業収益	13,824,027	1,665,602	15,489,629
その他事業収益	720,000	727,891	1,447,891
雑収益			
雑収入	0	2,041,286	2,041,286
受取利息	0	14	14
経常収益計	**52,359,119**	**7,316,737**	**59,675,856**
(2)経常費用			
事業費			
現地事業費(相馬)計	25,067,580	0	25,067,580
現地事業費(大槌)計	11,464,798	0	11,464,798
現地事業費(駒ヶ根)計	7,232,084	0	7,232,084
現地事業費(東京)計	7,610,445	0	7,610,445
減価償却費	2,368,404	0	2,368,404
現地事業費計	53,743,311	0	53,743,311
広報資金調達事業費 計	5,169,916	0	5,169,916
TTF事業費 計	719,283	0	719,283
事業費計	59,632,510	0	59,632,510
管理費計	0	8,305,475	8,305,475
経常費用計	**59,632,510**	**8,305,475**	**67,937,985**
当期経常増減額	**△ 7,273,391**	**△ 988,738**	**△ 8,262,129**
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 7,273,391	△ 988,738	△ 8,262,129
一般正味財産期首残高	5,741,003	△ 3,624,992	2,116,011
一般正味財産期末残高	**△ 1,532,388**	**△ 4,613,730**	**△ 6,146,118**
II.　指定正味財産増減の部			
受取寄付、補助金等			
受取公的補助金	23,274,736	0	23,274,736
受取民間助成金	3,308,770	585,882	3,894,652
受取寄付金	832,716	241,036	1,073,752
一般正味財産への振替額			
公的補助金の振替額	23,274,736	0	23,274,736
民間助成金の振替額	5,954,670	825,682	6,780,352
寄付金の振替額	832,716	241,036	1,073,752
当期指定正味財産増減額	△ 2,645,900	△ 239,800	△ 2,885,700
指定正味財産期首残高	3,732,382	603,129	4,335,511
指定正味財産期末残高	**1,086,482**	**363,329**	**1,449,811**
III.　正味財産期末残高	**△ 445,906**	**△ 4,250,401**	**△ 4,696,307**

※ 財務諸表の全文は、エル・システマジャパンのホームページ(http://www.elsistemajapan.org)でご覧いただけます。　公益法人会計基準に則る監査:矢崎 芽生(公認会計士・税理士)

ぜひご覧ください

や を

お待ちしています

ご協力、ご支援いただいた皆様

ご協力いただいた アーティストの皆様

阿部芙由花(コーラス)
石井忠彦(チェロ)
石田彩音(アルト)
伊藤萌(トランペット)
猪又麻衣子(チェロ)
岩田学(作編曲)
上杉理香(バイオリン)
上田真樹(作編曲)
海野隆次(ファゴット)
ヴィルフリート・和樹・ヘーデンボルク(バイオリン)
大庫るい(ビオラ)
大澤愛衣子(バイオリン)
岡崎明義(フルート)
岡田大和(トロンボーン)
小島弥生(合唱指導)
北湯口佳澄(クラリネット)
木許裕介(指揮)
久保陽子(バイオリン)
佐藤俊也(トランペット)
下路詞子(クラリネット)
菅原由夏(コーラス)
鈴木正之(トロンボーン)
須藤亜佐子(バイオリン)
スミス恵美(パーカッション)
関根のぞみ(チェロ)
千田真紀(オーボエ)
千石進(クラリネット)
臺隆裕(トランペット)
髙山泰利(パーカッション)
雫境(舞踏)
田中彩子(ソプラノ)
玉置ひとみ(コーラス)
戸田薫(バイオリン)
名和俊(コントラバス)
野間春美(ピアノ)
橋本顕一(ビオラ)
橋本ひかる(トランペット)
半澤淳子(ピアノ)
比江嶋理乃(コーラス)
藤井星亜(トロンボーン)
古橋富士雄(合唱指揮)
牧原依里(映画作家)
三谷野絵(チェロ)
持田富士美(ファゴット)
森泰子(ピアノ)
山本大(ホルン)
山本睦(オーボエ)
横田真規子(バイオリン)
横山希(ピアノ)
吉川真澄(ソプラノ)
吉原正教(トロンボーン)
ラッキィ池田&彩木エリ(振付)
和波さやか(パーカッション)

<敬称略、五十音順>

楽器を寄贈してくださった皆様

岩本あづさ
上田祐介
小西千晶
清水敦子
高橋葉子
戸田裕士
松浦真理子

<敬称略、五十音順>

ご支援いただいた皆様

相澤弥一郎
青柳千尋
あぶくま信用金庫
家子史穂
岩崎慎一郎
Water Dragon Foundation
オアシス楽器店
大谷雅子
大槌町
オリエンタルモーター株式会社
川原直
猪狩明彦
キッコーマン株式会社
gooddo株式会社
Global Giving
小池美喜
独立行政法人国際交流基金
株式会社コト
小林博之
駒ケ根市
公益社団法人才能教育研究会
佐伯栄一
芝崎智子
清水道子
真如苑
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
(新型コロナウイルス緊急支援助成・休眠預金活用)
相馬市
株式会社ソノリテ
棚澤啓介
つつじ点訳友の会
鳥越浩一
公益財団法人東京都歴史文化財団(東京芸術劇場)
社会福祉法人トット基金
仁藤里香
二瓶浩
日本ろう者劇団
ハクゾウメディカル株式会社
株式会社バリューブックス
廣野孝男
フェローオーケストラ
吹浦房子
福羽泰紀
舟越一郎(funaco design studio)
文化庁
株式会社文京楽器
堀西基
増田ユリヤ
株式会社ミスター・ミュージック
ミンネ・シュティムメ
本江博子
文部科学省
READY FOR株式会社
若林直子

<敬称略、五十音順>

2021年4月1日〜2022年3月31日の間に原則5万円以上のご寄付、及びボランティアで各種技術協力をくださった個人、企業、法人のお名前を、ご本人の了承を得た上で掲載しております。

皆様のご支援、ご協力に心より感謝申し上げます

http://www.elsistemajapan.org/

elsistemajapan
各地での活動やイベントを、ほぼ毎日更新しています
https://www.facebook.com/elsistemajapan/

El Sistema Japan
コンサートの演奏をご覧いただけます
youtube.com/c/ElSistemaJapan

@ElSistemaJapan
https://twitter.com/elsistemajapan

el_sistema_japan
https://www.instagram.com/el_sistema_japan/

エル・システマジャパン 活動報告書2021
発行: 一般社団法人エル・システマジャパン
〒101-0052 東京都千代田区 神田小川町3-24 大栄堂第2ビル 3F
tel: 03-6811-7077 mail: info@elsistemajapan.org
発行日: 2022年12月 デザイン:舟越 一郎(funaco design studio)
© 一般社団法人エル・システマジャパン

FRIENDS OF
EL SISTEMA
JAPAN
一般社団法人 エル・システマジャパン